

令和4年度 進捗状況評価シート

目標の達成状況

目標(1) 移動不便地区の解消

評価指標	目標値	基準値	実績値				
		R1年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
高校通学の移動不便地区数	0地区	23地区	23地区	23地区			
通院の移動不便地区数	0地区	17地区	17地区	17地区			
達成状況に関する考察	<p>各市町村の交通担当者に、移動不便地区と各市町村の取組状況をお伺いした。事業を開始しはじめた段階で移動不便地区の解消にはまだ至っていないという判断だが、解消に向けた事業取組（デマンドバス2件、タクシー券制度の広がり1件）がいくつかの市町村で進められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不便地区は、駅から1km、停留所から500mを超える距離にある地区としている。 ・移動不便地区のうち、一定の効果がみられる代替手段※がある地区については除外 <p>※福祉バス（無料）、タクシー券、タクシー助成、スクールバス等</p>						
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・南信州市町村の取組状況や課題等を共有できる場を整備していく。 ・他圏域で成功している取組事例などを調べ、情報共有していく。 						

目標(2) 利便性の向上

評価指標	目標値	基準値	実績値				
		R1年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住民一人あたりの1年間の公共交通の利用回数	3.33回/人	3.33回/人	2.62回/人	2.73回/人			
達成状況に関する考察	<p>南信州圏域の人口は減少傾向にある中、令和4年度中の公共交通利用者数は前年度比で若干増となっており、全体的には回復傾向にあることが伺える。</p> <p>各路線の内訳を見ると、一部では前年度から減少となっている路線が存在している。</p> <p>【算定に用いた数値について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月1日時点の南信州圏域の人口は151,803人（前年度比 -1.2%（153,575人）） ・令和4年度中の公共交通利用者数はのべ413,885人（前年度比+2.6%（403,006人）） <p>※自主路線除く</p>						
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学生及び高齢者に向けて、運行状況の情報を得やすい環境づくりを進める。具体的には、公共交通のWeb検索の整備とその周知により、カンタンに検索できる環境を作り、利用者増を図る。 ・乗り方教室や高齢者のスマホ教室等で題材として公共交通の検索を取り上げてもらえないか各所へお伺いをしていく。 						

目標(3) 持続可能な運行の確立

評価指標	目標値	基準値	実績値				
		R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用者一人あたりの市町村負担額	538 円/人	538 円/人	962 円/人	973 円/人			
運行経費に対する運賃収入の比率	19.4%	19.4%	14.6%	13.9%			
達成状況に関する考察	<p>利用者が増加し、運賃収入も増加しているものの、運行経費が更に増加していることから、結果として行政負担となっている部分は増加となっている。</p> <p>拡大する運行経費部分については、その内訳を確認し、対策を検討していく必要がある。</p> <p>【算定に用いた数値について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度中の公共交通利用者数はのべ413,885人（前年度比+2.6%（403,006人）） ・令和4年度運賃収入 70,373,393円（前年度比+1.8%（69,121,197円）） ・令和4年度運行経費 503,882,343円（前年度比+6.4%（473,341,740円）） ・令和4年度行政負担 402,818,201円（前年度比+3.9%（387,556,892円）） <p>※自主路線除く。また運行経費には、車両減価償却、修繕料、その他支出を含まない。</p>						
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生や高齢者以外の普段バスを使わない人の利用を増やす取組を検討し、進める。 ・市町村の路線見直し等を支援する仕組みを作り、各エリアで協議を進めていただけるようにする。 						

目標(4) 観光地等への来訪者の移動手段の確保

評価指標	目標値	基準値	実績値				
		R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
観光タクシーの運行回数	200 回	0 回	1 回	777 回			
達成状況に関する考察	<p>令和4年に阿智村観光局と南信州広域タクシー間で「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業（交通連携型）」を採択し、昼神温泉⇄上諏訪駅、昼神温泉⇄中津川駅を結ぶライナー線の運行が開始したことにより、結果として大幅増となった。</p>						
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・観光部局や事業者が開発する観光路線について、利用者への情報提供（GTFS等）の面で支援できないか検討していく。 ・今後のリニア二次交通の検討の中では、観光交通の中で生活交通を主軸とする南信州公共交通システムが担える部分、観光交通の各方面の拠点や観光サイト等について、改めて観光部局や事業者とともに整理を進めていく。 						

目標(5)新技術の導入に向けた取組み

評価指標	目標値	基準値	実績値				
		R1 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
GTFS-JP の基幹路線・准基幹路線に対する整備率	100%	0%	8%	100%			
達成状況に関する考察	<p>基幹路線・准基幹路線のうち定時定路線については、すべての整備が完了した。デマンド・乗合タクシーについては、GTFS-JP の要件に現状合致していないため、整備対象から除外した。また、支線についてもほぼ整備が進んできている状況で、令和5年度も同様に整備を進めていきたい。</p> <p>●GTFS-JP データ作成完了(R5.6 時点)</p> <p>E0 阿島線/W0 駒場線/E1 遠山郷線/西部コミュニティバス/L1 循環線/C2 久堅線/C3 千代線/C4 三穂線/C5 大休線/E2 平岡線/M3 部奈線/M6 上片桐・大島通学便/M7 生田線/S1 温田線/S0 阿南線/E4 喬木村民バス氏乗線/T2 滝川阿島北県道線/T3 堀越線/T4 佐原線/T5 福島線/T6 壬生沢福島線/T7 壬生沢線/M1 大鹿線(鹿塩・大河原、松川インター・日赤、松川インター) / K1 柿丸あったかバス 山吹エリア/ K2 柿丸あったかバス 市田エリア/ K1 柿丸あったかバス (山吹・市田まわり) /W4 巡回バス 浪合線/ W5 巡回バス 清内路線</p>						
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は支線について、引き続き専門家に助力いただきながら進めていくこととする。 ・継続的な更新を行えるよう、GTFS-JP の講習会などで各市町村及び事業者の担当者のフォローアップしていく。 ・整備がほぼ完了したことから、多様な活用を地域のステークホルダーと協議しながら進めていく。 ・作成したデータをオープンデータとして、各所へ提供を進めていく。 ・デマンド・乗合タクシーについては、GTFS-JP の要件に現状合致していないため、整備対象から除外したが、どのようにすれば利用者に対して情報提供ができるかなどを検討していく。 						